

おとうさんへありがとうのきんメダル

久能 和佳

なつやすみに、かぞくみんなで、テレビでとうきょうオリンピックをみました。わたしは、こえがかるるぐらいうえんしました。がんばったせんしゅたちが、むねにかけているメダルは、きらきらかやいていました。わたしは、いつも、かぞくのためにおしごとをがんばっている、たんしんふにんのおとうさんにも、メダルをあげたいとおもいました。せかいに「っしかない、わたしからの「オリジナルきんメダル」です。

おとうさんがきんメダルをとれるきょうぎはなんだろう。いろいろとかんがえてみました。「パソコンはやうちせんしゅけん」かな。これはなかなかいいところまでいけるとおもいます。「あさのはやおききょうそう」かな。おとうさんは、たんしんふにんをしているから、げつようびのあさ、ものすごくはやくおきてしごとへでかけていきます。これもメダルのかのうせいがたかいです。でもやっぱりわたしからきんメダルをあげるとしたら、これ。「ねかしつけきょうぎ」です。おとうさんは、かえってくるかならずわたしといっしょにねてくれます。わたしは、おとうさんとねるのがだいすきです。おもしろいおはなしをしてくれるし、やさしくトントンしてくれるからです。おかあさんとねるのもいいけれど、おとうさんはとくべつです。たんしんふにんで、「しゅうかん」にかいくらいしかいっしょにねられないので、わたしはおとうさんがかえってくるひをたのしみにしています。おとうさんといっしょにベッドにはいると、もつとおはなしをきいていたのに、すぐにねむくなってねてしまいます。ふしぎです。おかあさんは、「おとうさんがくると、あんしんするから、ねむくなるんじゃない。」

と、いいます。おとうさんには、かぞくみんなをほつとさせるパワーがあるのかもしれない。だから、このきょうぎは、わたしにとつて、おとうさんがまちがいなくきんメダルです。おとうさんに、わたしからとびきりのきんメダルをぞうていします。ばちばちばち。

おとうさんがしごとのつごうでかえってこれないとき、わたしはさみしくてなみですが、です。そんなときは、おとうさんとでんわやビデオつうわをして、はなしをきいてもらいます。おとうさんは、

「わかはがんばりやさんだね。おとうさんも、わかにまけないように、おしごとをがんばるよ。こんど、いっしょにねようね。」

と、いつてくれます。おとうさんのにこにこがおにもきんメダルをあげたくなります。おとうさん、いつもありがとう。わたしもべんきょうやおかあさんのおてつだいをがんばるよ。こんどかえってきたら、おりがみできんメダルをつくって、ひょうしょうしきをやってあげるね。そして、またわたしのベッドでいっしょにねようね。